
“エデンの鍵” と生徒会という名の探索部隊《ファインダー》

成瀬 葵

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

” エデンの鍵” と生徒会という名の探索部隊

ライター

【Nコード】

N5062H

【作者名】

成瀬 葵

【あらすじ】

神獄学園、神魔学科に入学した成瀬政行は、生徒会長の本条茜に半ば強引に生徒会に入らされる。なぜ、生徒会に入らされたのか、エデンの鍵とは何なのか、良くも悪くも印象強い学園生活が始まる。

序話 ぼくの事、世界の事

「私たち、生徒会役員の役目はこの学園の何処かにある」エデンの鍵”を見つけ出し、永遠にそれを破棄することよっ！」

クラーク博士のポーズで、少女・・・現生徒会長である本条 茜はこえ高らかに発言した。

「・・・いい加減聞き飽きたので、別の名言にして下さい。」

「何言ってるの、成瀬君。みんなが忘れないように気を利かしているのに、それは無いんじゃないの！」

「はいはい、そうですね。ありがたいですね。2人しか居ませんが」

「う、相変わらず毒のある台詞ね。ま、いいや。それから――」

さて、なぜこんな訳の分からない状況になっているのか、説明しないといけないだろう。

ぼく、成瀬政行は、極々平凡でそれこそ日本全国の高校生を探せば1万人ぐらいいるだろうってぐらいの高校生である。しかし、世の中にとってみれば極めて特異な存在らしい。

事の発端は、5年前。中国のとある地域にてあるものが、見つかった。それは、我々日本人が使っている言語、日本語に極めて似た文章が発見された。しかし、その内容は異質なものだった。

・・・・・・・・・・・・・・・・

それは、魔法の使い方だった！！！！

始めは馬鹿らしいと捨てられたのだが、どこぞ物好きが実践してみたところ……

炎が出るわ、水が浮くわ、空を飛ぶわなど、科学では有り得ないことが多々起きたのである。最も、誰でも間でもってわけではなく挑戦した者の内の20%ぐらいだったらしい。

そんな中日本政府は、とんでもない事を実行した

それは、国立の中高一貫の学校を設立し、そのなかに『神魔学科』しんまがつかを設けたのである。ま、ここにぼくたちが所属しているということ
は察しのいい人には言うまでもないだろう。

ここまでは、大まかな世の中の流れだ。

次は、ぼくらに関することだが……

今年の春。ぼくは、素晴らしい期待とホンの少しの不安の中、この学校『神獄学園、神魔学科』に入学した。始め（入学して1ヶ月程度）は、穏便に、かつ、有り触れた学園生活を満喫していたのだが、それを、まるで砂の城を踏み潰さんばかりに壊された。

犯人は、そう……生徒会長その人である。

いきなり教室に侵入し、机でうたた寝しているぼくの胸座を掴み、
こう宣言された。

……

「今日の放課後、生徒会室に来なさいっ！ 副生徒会長さん！」

とまあ、こんな感じで現在に至るわけだ。ちなみに、この出来事

は1週間前のことだ。

強引に副会長に任命された訳なのだが、この人は、断固としてぼくが副会長になったのか話そうともしない。聞いても、『理由？何それ、おいしいの？』と白を切られる始末だ。

そうそう。意味不明で曖昧なことがもう一つあった。それは・・・

「ところで会長。いい加減その『エデンの鍵』について教えてくれませんか？ 探すにしてもどんなものか知らないと探しようが無い訳ですし」

ホワイトボードに『今日の議題』と書いていた会長は振り返った。しかもその表情は露骨に嫌そうだ。

「そうね・・・そろそろ知ってもいい頃合いよね。分かったわ、説明してあげる。ホントは、みんな集まったときに言いたかったんだけど、1週間何も応答してなかったから、痺れを切らして出て行かれるのもあれだし・・・洗いざらい説明します」

そう言って会長は、『今日の議題』の下に『エデンの鍵』についてと書き足した。

「エデンの鍵、それはね・・・

そう言おうとした次の瞬間、爆発音のような音を出して扉が開いた。

「大変だっ本条っ！！ エデンの鍵が見つかったっ！！」

『・・・・・・・・え???』

前略、名も知らない神様。とことんぼくは、平穩とは程遠い男
です。

序話 ぼくの事、世界の事（後書き）

2週間置きに掲載できるようがんばりますので、よろしく願います。・・・はい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5062h/>

“エデンの鍵”と生徒会という名の探索部隊《ファインダー》

2010年10月12日03時37分発行